

平成 29 年度 関東支部運営委員会（第 4 回） 議事録

日時：平成 30 年 2 月 13 日（火） 10:00～12:30			会場：地盤工学会会館					
支部長	安田 進	○	副支部長	東川 直正	×	副支部長	坂上 敏彦	○
副支部長 発表会Gリーダー	北詰 昌樹	×	副支部長	長尾 俊昌	○	監 事	石井 武司	○
監 事	北本 幸義	○	幹 事 長	峯岸 邦夫	○	副幹事長	石川 敬祐	○
副幹事長	福原 誠	○	山梨県G リーダー幹事	後藤 聡	×	茨城県G リーダー幹事	松島 亘志	×
栃木県G リーダー幹事	西村 友良	×	群馬県G リーダー幹事	若井 明彦	○	神奈川県G リーダー幹事	早野 公敏	×
千葉県G リーダー幹事	若月 洋朗	○	埼玉県G リーダー幹事	川本 建	×	研究委員会G リーダー幹事	渡邊 康司	×
会員SG リーダー幹事	田中 剛	○	栃木県G 代 理	林 健太郎	○	副支部長代理	飯野 正樹	×
事務局	青木 美智子	○						

○：出席，×：欠席

1. 前回議事録の確認

- ✓ 平成 29 年度第 3 回運営委員会議事録（12/22）

→内容を確認し、承認された。

2. 最近のスケジュール

- ✓ 平成 29 年度第 2 回評議員会：平成 30 年 2 月 26 日（月）

特別講演会：講師 千葉達朗氏（アジア航測株式会社）

「赤色立体地図の原理と応用-様々なスケールの地形から何を読み取れるか-」

- ✓ 平成 30 年度支部総会：平成 30 年 4 月 27 日（金）

特別講演会：講師 木村克己氏（国立研究開発法人防災科学技術研究所）

「東京都心の 3 次元地盤モデルに基づく伏在活断層の推定」

→上記のスケジュールを確認した。

3. 本部・他支部に関する連絡・報告・検討依頼事項

- (1) 平成 29 年度「地盤工学会功労賞」候補推薦のお願い（提出済）

→推薦内容を確認した。

- (2) 平成 29 年度名誉会員推挙候補者の推薦依頼（提出済）

→メール依頼の結果、推薦がなかったことが報告された。

- (3) 平成 29 年度 特別会員の表彰について（通知）

→17 団体が支部総会で表彰されることが報告された。なお、PC フレーム協会は 3/31 退会予定であるが、特別会員表彰案内とともに、再度慰留願いを送付することが報告された。

- (4) 平成 29 年度 永年にわたる正会員への感謝状贈呈について（通知）

- 33名の方が支部総会で表彰されることが報告された。なお、喜内氏は功労賞の推薦者のため、本部表彰委員会に検討依頼済みであることが説明された。
- (5) 地盤工学会関東支部選出代議員について（厳重注意）
→内容が確認された。
- (6) 現預金の通常に残高について（回答済）
→支部で保有する現金および預金の平均額は、700万円～1,000万円で推移している。
→現金および預金で普段の事業に支障がない額は、200万円前後は必要であり、10月・11月・3月の繁忙期は500万円程度が必要である。
- (7) 各支部出版物についての確認（回答済）
→販売目的の書籍は、①「新・関東の地盤（2014年版）」、②「法律家・消費者のための住宅地盤Q&A」である。
→①は本部公益出版部に3カ月に1回程度、売上と販売数、在庫を伺っている。②は出版元の民事法研究会に売り上げが入り、印税収入のみ関東支部に入る契約を結んでいる。
- (8) （本部総務部）支部会計規程等の設置に関する検討依頼
→新しい会計規程では、支部が管理できる現預金は100万円/月を基本としている。このため、従来は半年に一度予算管理を行っていたが、行事毎に精算管理する必要が生じる。
→出納責任者は、支部幹事長の他に支部長が指名する若干名を関東支部案として提案している。
→入出金の承認管理は、電子承認を基本に考えていることが報告された。
→公印使用は、使用状況を一覧表として作成し、一覧表をチェックする。
→支部送金取扱要領の4.・・・会長が送金する。に文言を修正する。
→これらの運用マニュアルを作成してもらうように本部に依頼する。
- (9) 平成30年度支部「事業計画案（まえばん、本文）・正味財産増減予算案」ご提出についてのお願い
→調査・研究事業（公2）に、「若手セミナー」の企画の追記と「安全・安心」に表記を修正することとした。
- (10) 地盤品質判定士協議会のWebが新しくなりました。<https://jiban-jage.jp/>
→周知された。

4. 支部からの周知・連絡・検討事項

- (1) 平成30年度予算
→1次（案）に対して、公益出版事業収益の見直し、調査研究・基準事業収益の見直しを行い、収支バランスを改善する予算（案）を作成することとした。
→修正予算（案）はメール審議で確定することとした。
- (2) 平成30年度名簿案

- ―>石井支部監事の後任として、高橋章浩先生（東工大）に内諾を得たことが報告された。
- (3) 平成 29 年度地盤工学会関東支部賞
- ―>内容が確認され、次年度の支部総会で表彰することとした。
- (4) 関東支部若手意見交換会開催企画案
- ―>平成 30 年度に実施するために運営体制の構築を図ることとした。
- ―>G-CPD ポイントを付与する。
- ―>本部総会、土木学会総会以外の日程で調整を行なう。会告は開催月の 2 ヶ月前までに本部に提出する必要がある。
- (5) 1/12 開催「顧問会報告」
- ―>若手セミナーなどにシニアの先生方をお招きしてコメントをいただくような企画があると良いとの意見が合ったことが報告された。
- ―>70 周年記念事業の一つに「地盤工学に携わる女性」のネーミングを募集する企画が提案されたことが報告された。
- (6) 国際会議開催について
- ―>関東支部で国際会議を運営サポートできるように今後も継続して協議することとした。
- (7) 自治体（都・県）との災害協定の締結に向けた文面の作成
- ―>文面（案）の内容を確認し、地盤災害の例を追記することとした。また、修正後に各県 G にて都・県と災害協定の締結に向けて交渉して頂くこととした。
- (8) 出前授業講師派遣リスト一覧を更新するためのアンケートフォーム
- ―>官庁ヘリストを提出する目的でデータベースを作成することを明確化することとした。
- ―>アンケート項目の内容を利用側の国交省に確認していただくこととした。
- (9) 70 周年記念事業実行委員会（本部）
- ―>実行委員会は開催されていないが支部で実施を予定している企画案のアンケートがあり、関東支部からは、定例の行事（Geo-kanto、ソイルストラクチャーコンテスト）と若手セミナーに 70 周年の冠を付けて行うことと、「地盤に係わる女性のネーミング募集」を提案した。
- (10) 新設研究委員会公募（公募期間の変更）
- ―>新規研究委員会の募集は随時行い、柔軟な対応が望ましいとの意見があった。
- ―>外部資金を受けられる新規研究委員会については、時期に限らずに研究委員会を立ち上げられるように研究委員会 G で検討していただく。
- (11) 平成 29 年度予算執行状況（平成 30 年 1 月末現在）
- ―>内容が確認され、今後の収益は公 1 で 50 万、本部交付金で 20 万程度であることが説明された。

5. メール審議決定事項

- (1) 【1/25 締切：検討願い】地盤工学会：名誉会員推挙候補者の推薦依頼（支部）

→内容を確認した。

6. 開催結果、進捗状況の報告（前回運営委員会以降、開催分を記載）

- (1) 1/23 群馬県グループ「上信自動車道〔地盤改良工事〕見学会 参加者：34名【開催済】
(2) 1/31 共催行事：埼玉県グループ「平成29年度 技術講演会」参加者：118名【開催済】
(3) 2/7 千葉県・企画総務G「千葉市液状化対策事業」見学会 参加者：24名【開催済】
(4) 2/7 後援行事「環境防災セミナー2018」【開催済】

→内容を確認した。

7. グループ別の実施計画・進捗状況・その他報告事項

- (1) 会員サービス G
(2) 茨城県 G
(3) 栃木県 G
(4) 群馬県 G
(5) 山梨県 G
(6) 千葉県 G
(7) 埼玉県 G
(8) 神奈川県 G
(9) 研究委員会 G
(10) 支部発表会実行委員会
(11) 企画総務 G

→各Gの本年度活動報告および次年度活動計画が説明された。

8. その他

- (1) 退会届：

- ・三菱ケミカルインフラテック（株）（2018年3月末退会予定）
→組織変更に伴う見直しのため
- ・（株）国際技術コンサルタント（2018年2月末退会予定）
→不要と判断されたため
- ・中央大学理工学部都市環境学科（2018年3月末退会予定）
→齋藤邦夫教授の定年退職のため

- (2) 新入会：

- ・（株）大林組 土木部（4級）11月入会
- ・一般社団法人構造調査コンサルティング協会（4級）11月入会

→内容を確認した。

- (3) 次回打合せ：平成30年6月 日（平成29年6月30日に実施）

→平成30年6月中旬頃を予定とし、後日日程調整を行なうこととした。